

双葉郡内医療機関の再開に向けた意向調査について（結果概要）

1 回答状況

区分	対象施設数	回答数	回答率
病 院	5	4	80.0%
医科診療所	40	19	47.5%
歯科診療所	25	12	48.0%
計	70	35	50.0%

※対象診療所 65施設
(休止55、廃止10)

2 再開の意向

区分	①地元町 村で再開 する	②地元町 村以外で 再開する	③条件が 整えば再 開したい	④再開し ない	⑤わから ない（未 定）	⑥その他	計
病 院	1	0	3	0	0	0	4
	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
医科診療所	4	1	5	1	8	0	19
	21.0%	5.3%	26.3%	5.3%	42.1%	0.0%	100%
歯科診療所	1	2	6	2	1	0	12
	8.3%	16.7%	50.0%	16.7%	8.3%	0.0%	100%
計	6	3	14	3	9	0	35
	17.1%	8.6%	40.0%	8.6%	25.7%	0.0%	100%

注) 上段は選択件数、下段は回答数に対する比率を示す

3 上記表の③における条件内訳（重複選択）

区分	ア. 住民帰 還	イ. 除染の 完了	ウ. 生活イ ンフラの復 旧・整備	エ. その他		
				職員の確保	経営の成立	その他
病 院	3	3	3	1	1	1
医科診療所	5	2	3	2	2	1
歯科診療所	5	4	4	1	1	2
計	13	9	10	4	4	4

注) 「エ. その他」のうち「その他」とした内容

①原発の安全性

②残してきた医療機器が正常に作動するか、など

4 双葉郡の医療に関する意見等

	意見等内容	施設種類
1	<ul style="list-style-type: none"> ・病院再開については、 ①改修費用（各種配管改修、空調等の改修）約5億円。医療機器、備品等の整備で約2億円程度。計7億円程度の資金が必要。 ②再開時期における医療スタッフの確保の問題。 ③帰還住民がその時点でどの程度居住するのか？等々掲げられます。民間の力では非常に厳しい現状ではないかと思われます。 ・双葉郡内における二次医療提供体制については、民の力では限界です。官の力で体制づくりが不可欠と思われます。 	病院
2	<ul style="list-style-type: none"> ・帰還後の診療所の運営においては、帰還される町民の人数が不透明なことから、財政的に困難な状況になると推測されるが、復興に向けた地域医療を確立して行くためには必要不可欠なものであるため、継続して運営して行くためにも国、県の財政支援を要望いたします。 	医科診療所
3	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師の中には高齢者もいますので、個人で再開は不可能であると考えますので支援はぜひお願いしたい。 ・法人事業者では、利益に対する補償では再開は不可能。 ・以前と同等に再開する為には、事業に個人資産をつぎ込むにも限界があります。補助制度についても、もっと事業再開での負担ができる限り少ない様にしていきたい。 ・場合によっては全ての町村で公設民営を考えても良いのではと思います。 ・外部の医師でボランティア希望がいますと聞きます。受け入れやすくするべきだと思います。 	歯科診療所
4	<ul style="list-style-type: none"> ・帰還困難区域の自分の医院に戻って、今後再開するのは不可能であり、また個人で他地域にて再開するには、多面にわたって難しいものがあります。 ・帰還住民や復興関連事業従事者、原発作業員等の健康を守るために、双葉郡への医療機関の設立は必要なことであり、今後、公的な医療機関等の設立があれば、全面的に協力したいと思います。 	歯科診療所
5	<ul style="list-style-type: none"> ・現在避難先にある仮設診療所を避難元の町に設置し、医師も内科、外科をカバーできるよう2名以上を確保することが重要であると考えます。 	医科診療所
6	<ul style="list-style-type: none"> ・南双葉はいわき市に近距離であるが、北双葉が空白地帯になるため、その対応が必要。（ドクターヘリの駐機等？） 	医科診療所
7	<ul style="list-style-type: none"> ・震災前の医療水準を確保することが最低限必要で、住民が帰還に向けた希望を持てる環境づくりが急がれる。 ・医療スタッフの確保を含め、高度な判断が必要。 	病院
8	<ul style="list-style-type: none"> ・避難者の多くの希望が第一に医療施設の充実を挙げているのに、復興住宅地（いわき）に診療所建設の計画があるのは矛盾している。いわき市には医療機関は沢山あって、4年以上経った現在では殆どの人が既にかかりつけ医、歯科医を有しているので、診療所新設は逆に帰還を消極化させるのではないのでしょうか。素人考えで進めているようですが。 	歯科診療所
9	<ul style="list-style-type: none"> ・公的診療所ができれば協力します。 	医科診療所
10	<ul style="list-style-type: none"> ・避難先で再開のための借金がある為すぐに地元での再開は難しく、子どもの将来設計にもよります。 ・地域により事情が異なる。放射線量が違う。 	歯科診療所
11	<ul style="list-style-type: none"> ・今の町の状況では未来予想図が描けない。 	歯科診療所
12	<ul style="list-style-type: none"> ・全く前が見えず、方針が立ちません。 	医科診療所
13	<ul style="list-style-type: none"> ・状況を見ながら診療形態を考える。 	医科診療所
14	<ul style="list-style-type: none"> ・双葉郡内でも帰還の時期が異なっており、少なくとも当町においては、具体的な帰還の時期が明言されていません。そのため現段階では再開について返答できる状況にありません。 	医科診療所